

# 病院機構だより

病・産・学・官の連携で、中山間地域を支える人材を育てたい

地域で安心して住み続けられるまちづくりに向けて

府中北市民病院では、今後、上下地域で懸念される医療・介護人材の不足を防ぐため、地域ぐるみで「医療・介護人材の育成・教育」に取り組んでいます。

令和4年度にも、地域の介護事業所の皆さんなどの協力を得ながら新たな活動に取り組みましたので、その一端を紹介します。

## ◎看護・介護実習の拡大

### 出前授業

これまでにも、上下高校での出前授業や実習の受け入れを行ってきましたが、本年度からは上下中学校でも出前授業を行いました。

授業では、体が不自由な人の模擬体験を行うとともに、具体的な介護方法についての講義を行いました。看護の仕事についても、

点滴の滴下体験や聴診器体験など、中学生の皆さんに看護の魅力を感じてもらえるよう工夫しました。



### 医療体験セミナー

例年、多くの高校生が参加する医療体験セミナーについても、本年度から試験的に地元や近隣の中学校に通う生徒を対象とした、中学生版医療体験セミナーを

始めました。

参加した中学生の多くから「普段体験できないことを体験させてもらえてうれしかった」「進路を考える良いきっかけになった」といった意見をいただき、若者に医療・介護の仕事に関心を持ってもらえるきっかけになったと、職員一同手応えを感じることができました。

### 上下高校との連携

上下高校は地域の大切な資源です。以前から、医療・介護の若い担い手育成に向けて、病院・介護事業所と学校のより良い連携関係の構築を進めています。取り組みの一つとして、上下高校の2・3年生を対象とした、長期の職場実習（デュアル実習）の受け入

れを行っています。2年生は看護・介護職場、3年生には訪問介護を中心に、それぞれ熱心に実習を受講してもらいました。



### ◎介護の即戦力を育てる

#### 介護職員初任者研修

本年度から府中市・府中市社会福祉協議会・社会福祉法人翁仁会との協働で介護職員初任者研修の受講生募集を開始しました。

この資格は特に、訪問介護に従事する際に必要な資格なのですが、近隣で受講できる講座がないこともあり、どこの事業所も有資格者の確保が課題となっていました。

そこで、上下地域共生交

流センター「ふらっと上下」を主な講義会場とし、各介護事業所職員が分担して講師を務めることで、入院病床・入所系施設・訪問入浴・訪問介護・リハビリなど、上下地域にある多様な介護現場の実践を安い受講料で学ぶことができるよう工夫しました。



この講座には、10代から60代までの8人から申し込みがあり、無事全員に資格を取得してもらうことができました。

こうした取り組みの中から一人でも多くの人に、上下地域で一緒に働いていただけるよう、小さなことから努力し続けて参ります。